

1. 人 口

C0101-1 人口総数及び増加数

本町の行政区域における人口は、昭和 50 年代から減少に転じて平成 27 年には 20,236 人となっており、平成 7 年からのここ 20 年間で 17.5%減少している。

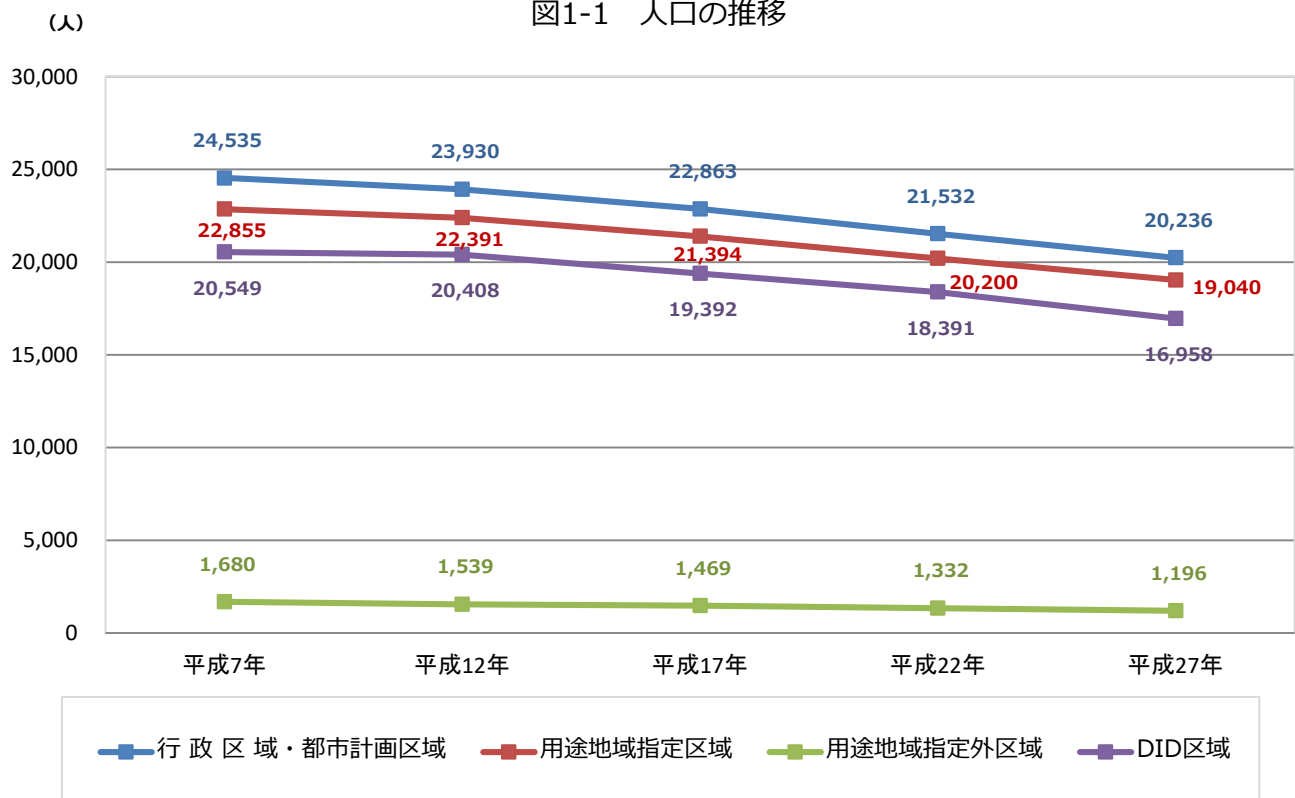
また、その多くが平坦部の限られた地域に集中しており、用途地域指定区域の人口は 19,040 人で総人口の 94.1%となっている。

表1-1 人口総数及び増加数

区 域	平成7年	7～12年の増減		平成12年	12～17年の増減		平成17年	17～22年の増減		平成22年	22～27年の増減		平成27年
	人口(人)	人口(人)	率(%)	人口(人)	人口(人)	率(%)	人口(人)	人口(人)	率(%)	人口(人)	人口(人)	率(%)	人口(人)
行 政 区 域	24,535	-605	-2.5	23,930	-1,067	-4.5	22,863	-1,331	-5.8	21,532	-1,296	-6.0	20,236
都市計画区域	24,535	-605	-2.5	23,930	-1,067	-4.5	22,863	-1,331	-5.8	21,532	-1,296	-6.0	20,236
用途地域指定区域計	22,855	-464	-2.0	22,391	-997	-4.5	21,394	-1,194	-5.6	20,200	-1,160	-5.7	19,040
うちDID区域	20,403	-47	-0.2	20,356	-1,029	-5.1	19,327	-982	-5.1	18,345	-1,402	-7.6	16,943
用途地域指定外区域	1,680	-141	-8.4	1,539	-70	-4.5	1,469	-137	-9.3	1,332	-136	-10.2	1,196
うちDID区域	146	-94	-64.4	52	13	25.0	65	-19	-29.2	46	-31	-67.4	15

(国勢調査)

図1-1 人口の推移



C0101-2 年齢・性別人口

平成27年における年齢別人口構成は、年少人口が2,383人で11.8%、老年人口が7,262人で35.9%となっている。男女別の人口構成では、50歳代までは男性の割合が高い傾向がみられるが、60歳以上では女性の割合が非常に高くなっている。

近年は、少子高齢化による自然減と転出による社会減が顕著になり、老年人口の割合が高くなっている。

表1-2 年齢・性別人口

(人)

年 階層	平成7年			平成12年			平成17年			平成22年			平成27年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0-4	1,066	544	522	1,007	546	461	930	459	471	794	424	370	649	321	328
5-9	1,098	542	556	1,034	536	498	970	507	463	894	447	447	820	432	388
10-14	1,297	672	625	1,057	513	544	997	506	491	947	506	441	914	452	462
15-19	1,496	777	719	1,097	574	523	908	447	461	835	418	417	834	443	391
20-24	1,570	732	838	1,212	573	639	843	432	411	703	322	381	609	305	304
25-29	1,620	835	785	1,683	885	798	1,401	714	687	936	498	438	762	401	361
30-34	1,471	778	693	1,563	834	729	1,603	831	772	1,158	625	533	865	452	413
35-39	1,263	663	600	1,433	760	673	1,451	795	656	1,505	775	730	1,123	589	534
40-44	1,535	719	816	1,209	627	582	1,280	669	611	1,312	707	605	1,447	750	697
45-49	2,016	979	1,037	1,482	715	767	1,146	583	563	1,229	639	590	1,281	667	614
50-54	2,005	970	1,035	1,950	943	1,007	1,454	698	756	1,123	568	555	1,189	610	579
55-59	1,779	899	880	1,950	943	1,007	1,888	904	984	1,407	662	745	1,099	549	550
60-64	1,711	812	899	1,720	863	857	1,890	903	987	1,800	854	946	1,349	629	720
65-69	1,563	710	853	1,657	773	884	1,645	815	830	1,799	841	958	1,721	800	921
70-74	1,226	520	706	1,476	638	838	1,549	714	835	1,544	748	796	1,701	786	915
75-79	813	325	488	1,099	446	653	1,290	545	745	1,385	615	770	1,420	669	751
80-84	546	184	362	670	240	430	924	336	588	1,126	445	681	1,157	479	678
85-89	331	105	226	409	117	292	430	136	294	666	210	456	810	281	529
90-	129	37	92	222	53	169	260	57	203	359	85	274	453	112	341
不詳							4	2	2	10	6	4	33	22	11
総計	24,535	11,803	12,732	23,930	11,579	12,351	22,863	11,053	11,810	21,532	10,395	11,137	20,236	9,749	10,487

(国勢調査)

図1-2 年齢別人口の推移

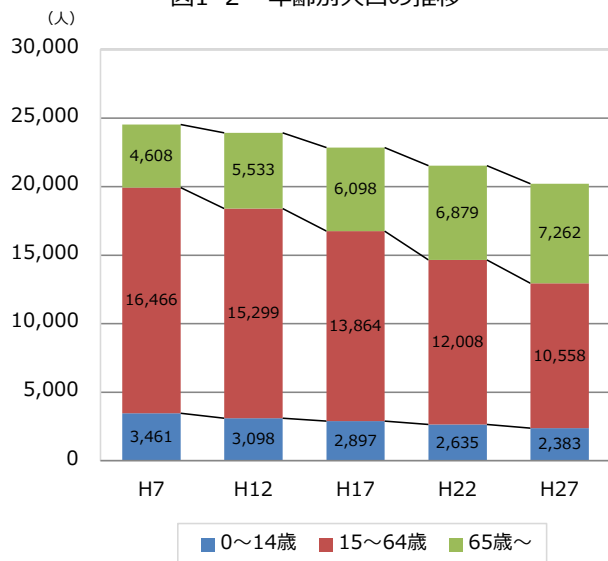


図1-3 年齢別人口構成比の推移

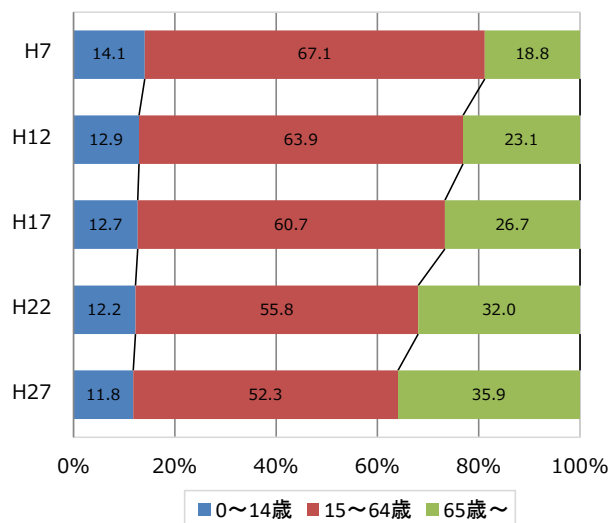


図1-4 性別人口の推移

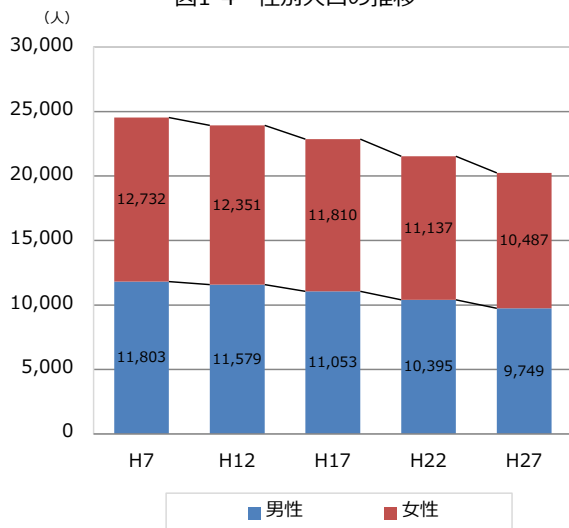


図1-5 性別人口構成比の推移

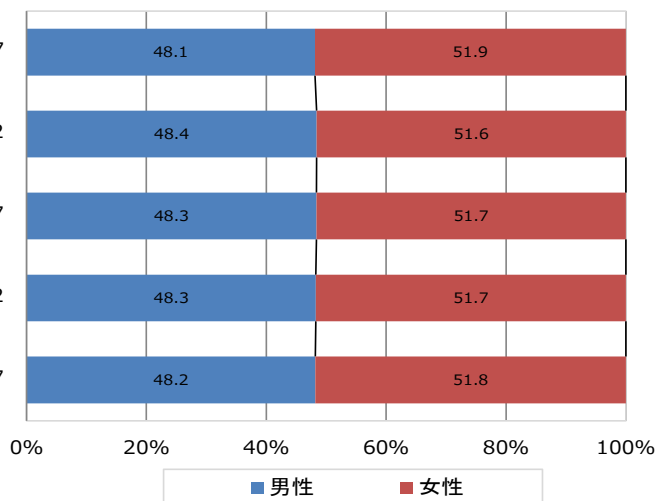
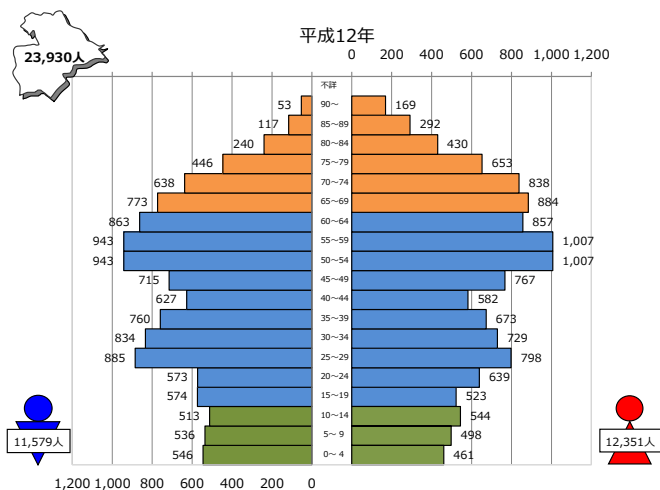
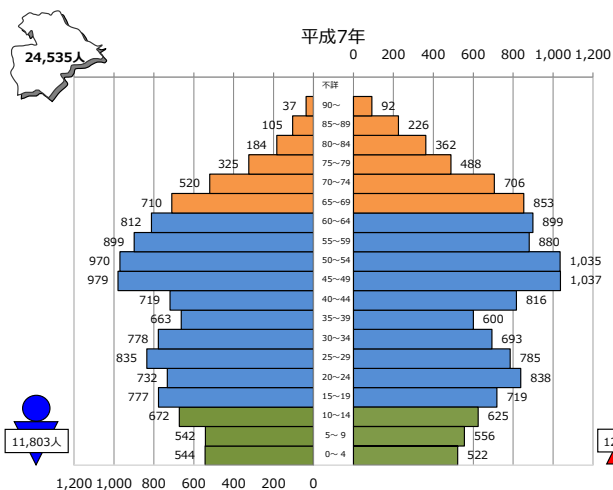


図 1-6 人口ピラミッド



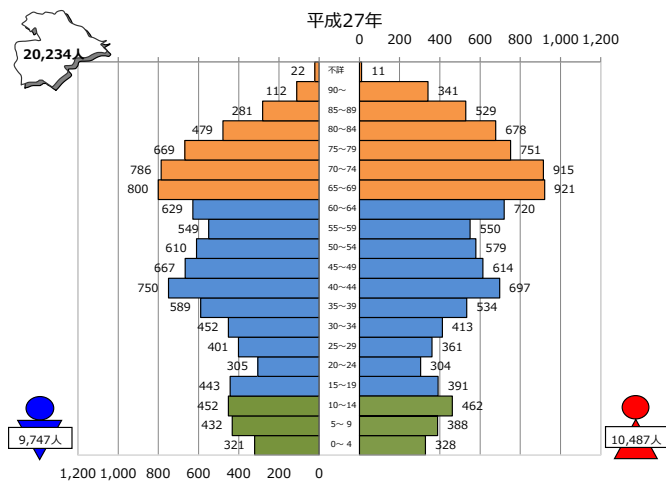
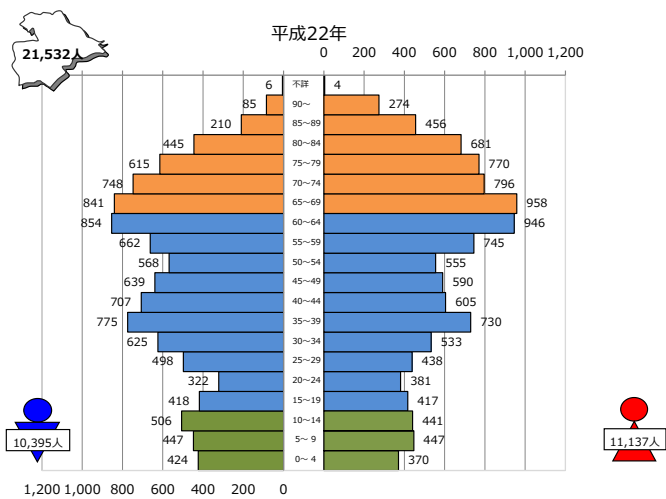
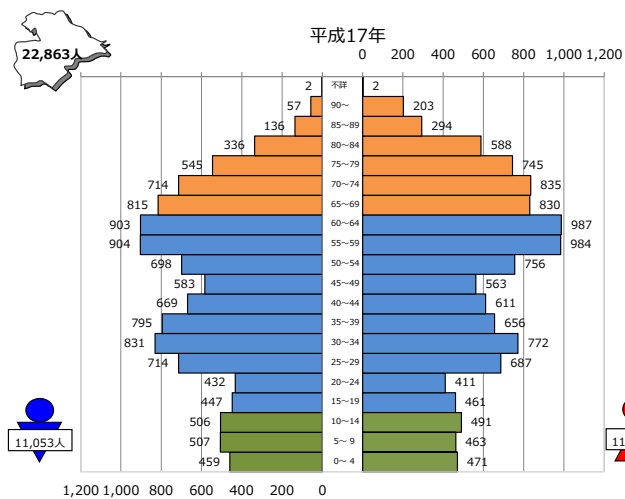
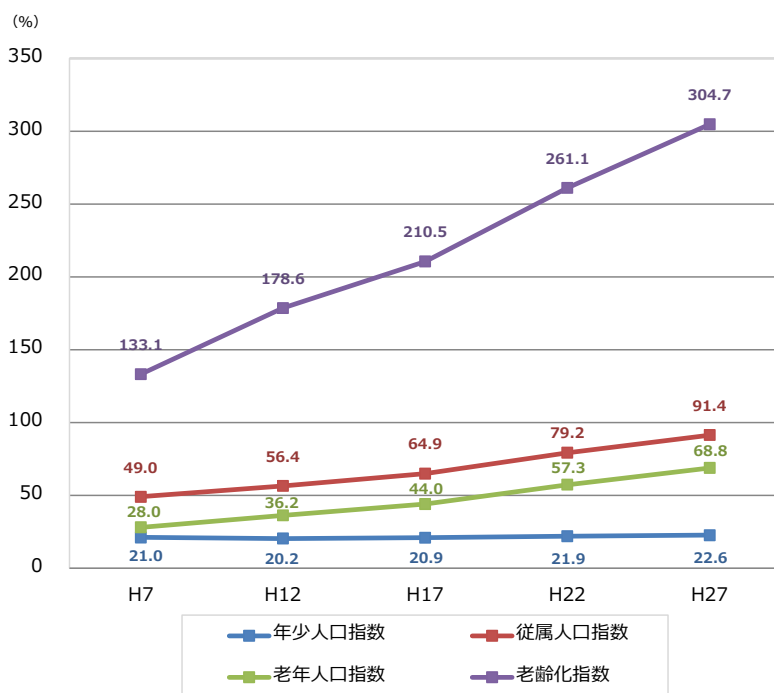


図 1-7 年齢構成指数の推移



* 年少人口指数 = 年少人口 / 生産年齢人口 × 100

老年人口指数 = 老年人口 / 生産年齢人口 × 100

従属人口指数 = (年少人口 + 老年人口) / 生産年齢人口 × 100

高齢化指数 = 老年人口 / 年少人口 × 100

C0102 DID

平成 27 年における DID 区域を見ると、人口が 16,958 人、面積が 437.0ha、人口密度が 38.8 人/ha となっており、人口・人口密度が減少傾向にあるほか、面積も平成 22 年より減少している。

DID 区域の用途地域指定区域に対する比率は、面積ベースで 80.8%、人口ベースで 89.1%となっており、平成 22 年からどちらも減少している。

市街化動向としては、下諏訪駅周辺を中心とした旧市街地を中心として昭和 40 年代から始まった土地区画整理事業により周辺部に広がりを見せている。

表1-3 DID区域人口及びDID区域人口密度の推移

	平成 7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
DID区域面積 (ha)	420.0	440.0	438.0	448.0	437.0
DID区域人口 (人)	20,549	20,356	19,392	18,391	16,958
DID区域人口密度 (人/ha)	48.9	46.3	44.3	41.1	38.8

(国勢調査)

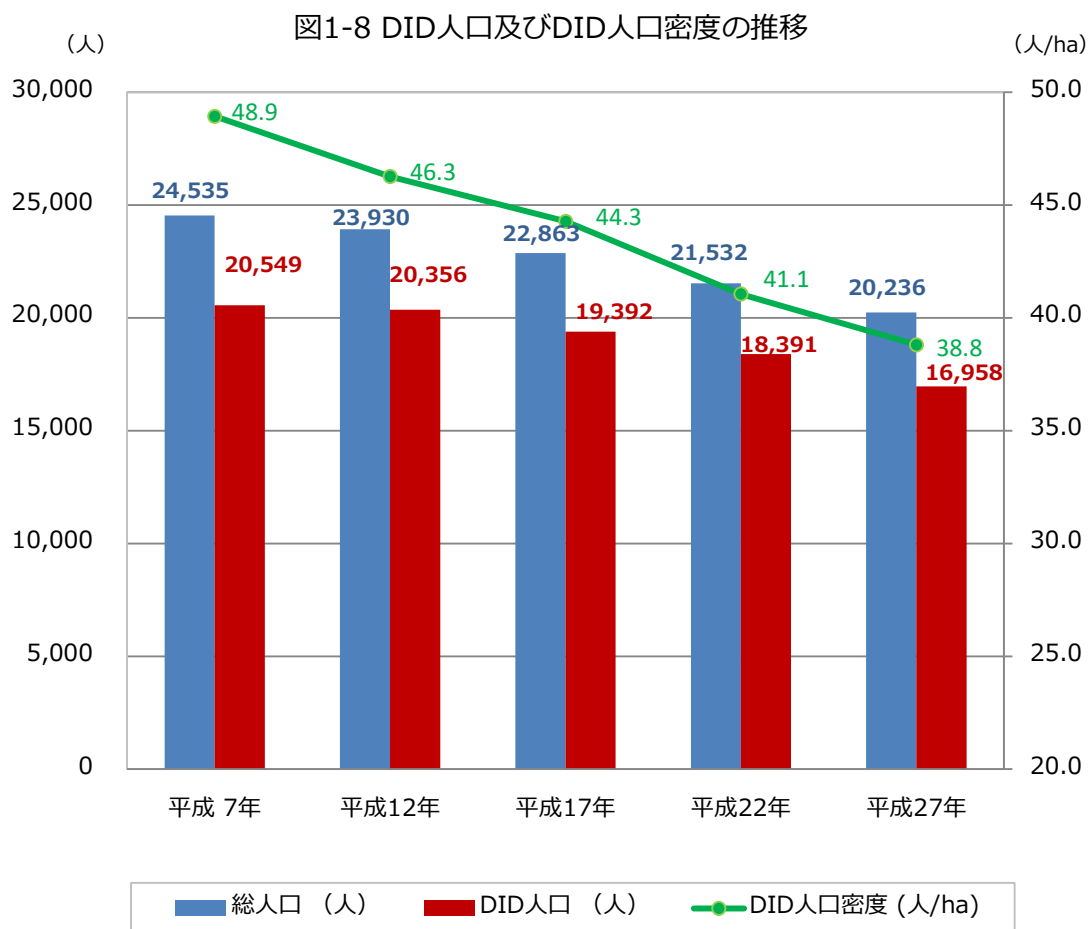
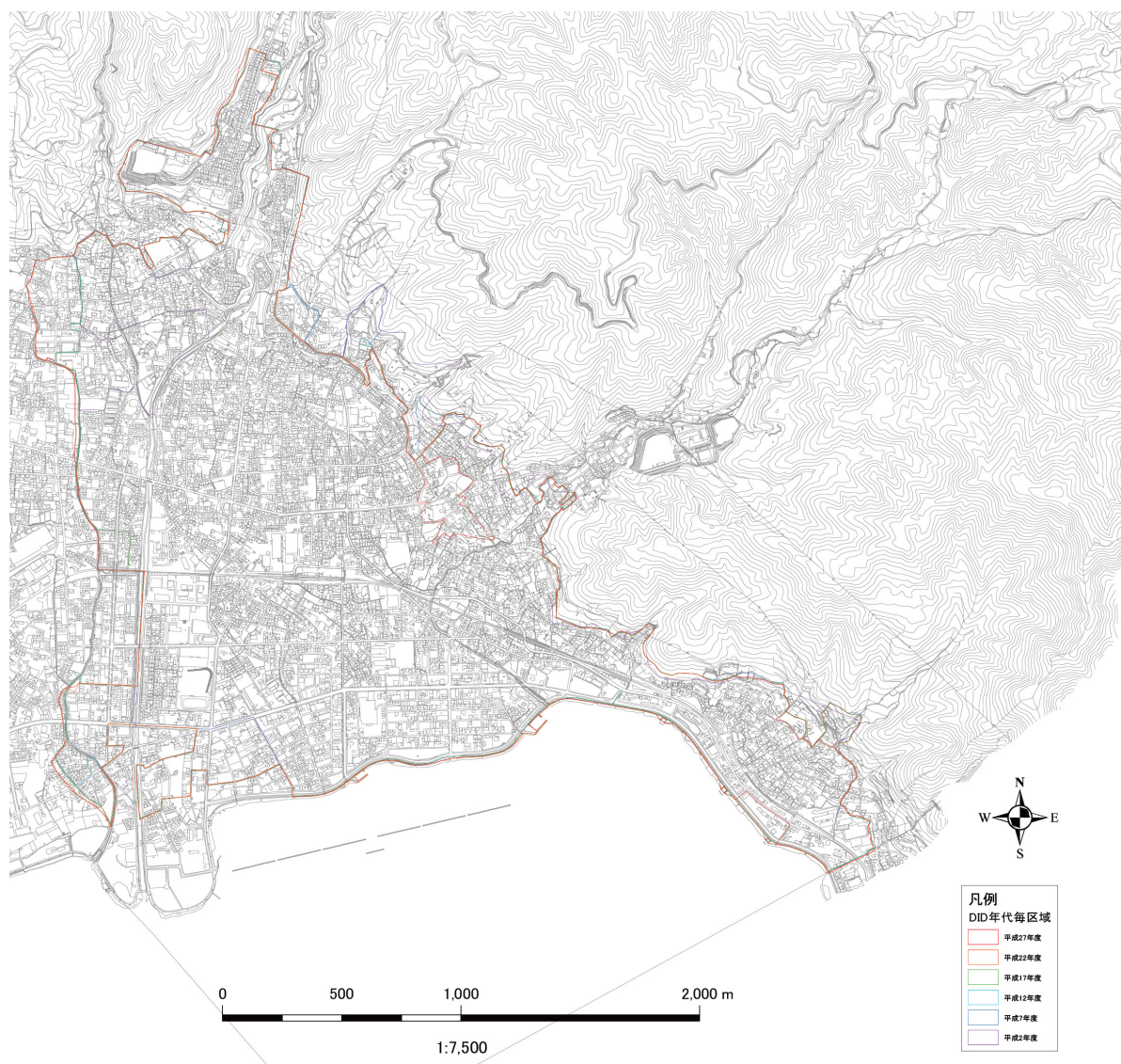


図 1-9 DID 区域の変遷図



C0103 将来人口

行政区域における将来人口を見ると、令和 27 年の行政区域人口が 11,631 人と推計され、平成 27 年の 20,236 人から 8,605 人減少すると推測される。今後、少子高齢化の進行により、老年人口の割合がさらに高まると推測される。

表1-4 年齢・性別将来人口

(人)

年 階層	実 績			推 計 値																	
	平成27年(2015年)			令和2年(2020年)			令和7年(2025年)			令和12年(2030年)			令和17年(2035年)			令和22年(2040年)			令和27年(2045年)		
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女
0～4	649	321	328	578	296	282	480	246	234	430	220	210	392	201	191	350	179	171	316	162	154
5～9	820	432	388	670	326	344	597	301	296	497	251	246	446	225	221	407	205	202	365	184	181
10～14	914	452	462	820	435	385	670	329	341	598	304	294	498	253	245	447	227	220	409	208	201
年少人口	2,383	1,205	1,178	2,068	1,057	1,011	1,747	876	871	1,525	775	750	1,336	679	657	1,204	611	593	1,090	554	536
15～19	834	443	391	800	394	406	718	379	339	586	286	300	524	265	259	435	220	215	391	198	193
20～24	611	307	304	615	327	288	591	293	298	530	280	250	432	212	220	386	196	190	321	163	158
25～29	765	404	361	686	393	293	696	416	280	671	381	290	608	364	244	493	279	214	443	258	185
30～34	866	453	413	719	370	349	646	361	285	659	385	274	639	354	285	578	338	240	470	259	211
35～39	1,123	589	534	838	426	412	698	348	350	628	341	287	642	365	277	626	336	290	566	322	244
40～44	1,448	751	697	1,037	527	510	773	380	393	645	311	334	581	306	275	594	328	266	580	302	278
45～49	1,284	669	615	1,386	710	676	996	499	497	743	360	383	621	295	326	558	289	269	571	311	260
50～54	1,192	613	579	1,246	642	604	1,347	682	665	968	479	489	721	345	376	604	283	321	543	278	265
55～59	1,100	550	550	1,167	593	574	1,225	624	601	1,324	663	661	951	465	486	709	335	374	594	275	319
60～64	1,354	633	721	1,057	525	532	1,126	570	556	1,185	602	583	1,281	639	642	922	449	473	686	323	363
生産年齢人口	10,577	5,412	5,165	9,551	4,907	4,644	8,816	4,552	4,264	7,939	4,088	3,851	7,000	3,610	3,390	5,905	3,053	2,852	5,165	2,689	2,476
65～69	1,728	804	924	1,295	595	700	1,013	496	517	1,081	539	542	1,141	572	569	1,234	607	627	888	426	462
70～74	1,706	787	919	1,643	754	889	1,232	558	674	966	467	499	1,033	510	523	1,093	542	551	1,182	575	607
75～79	1,421	669	752	1,580	709	871	1,531	684	847	1,150	507	643	903	426	477	970	468	502	1,029	499	530
80～84	1,158	479	679	1,194	526	668	1,343	563	780	1,316	551	765	990	409	581	781	347	434	843	384	459
85～89	810	281	529	845	307	538	882	344	538	1,011	374	637	1,006	374	632	758	278	480	603	240	363
90～	453	112	341	596	164	432	685	199	486	748	231	517	856	262	594	938	285	653	831	244	587
老年人口	7,276	3,132	4,144	7,153	3,055	4,098	6,686	2,844	3,842	6,272	2,669	3,603	5,929	2,553	3,376	5,774	2,527	3,247	5,376	2,368	3,008
総 計	20,236	9,749	10,487	18,772	9,019	9,753	17,249	8,272	8,977	15,736	7,532	8,204	14,265	6,842	7,423	12,883	6,191	6,692	11,631	5,611	6,020

(日本の市区町村別将来推計人口〔国立社会保障・人口問題研究所〕)

図1-10 人口の将来見通し（行政区画）

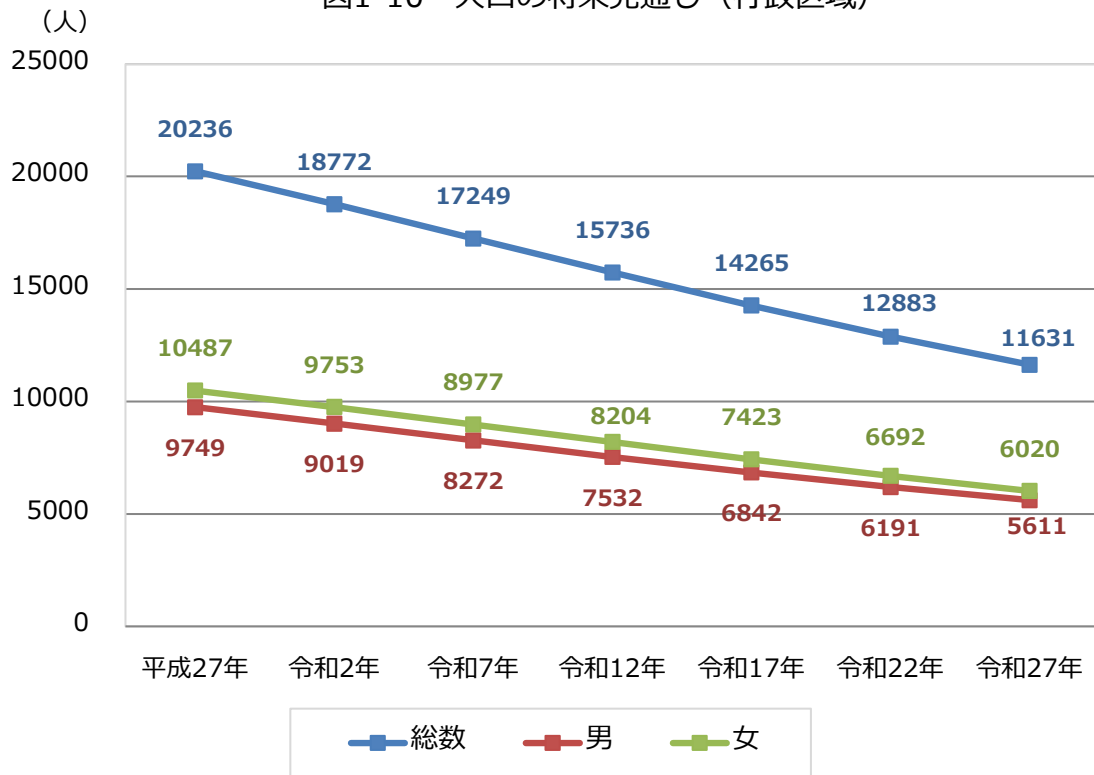
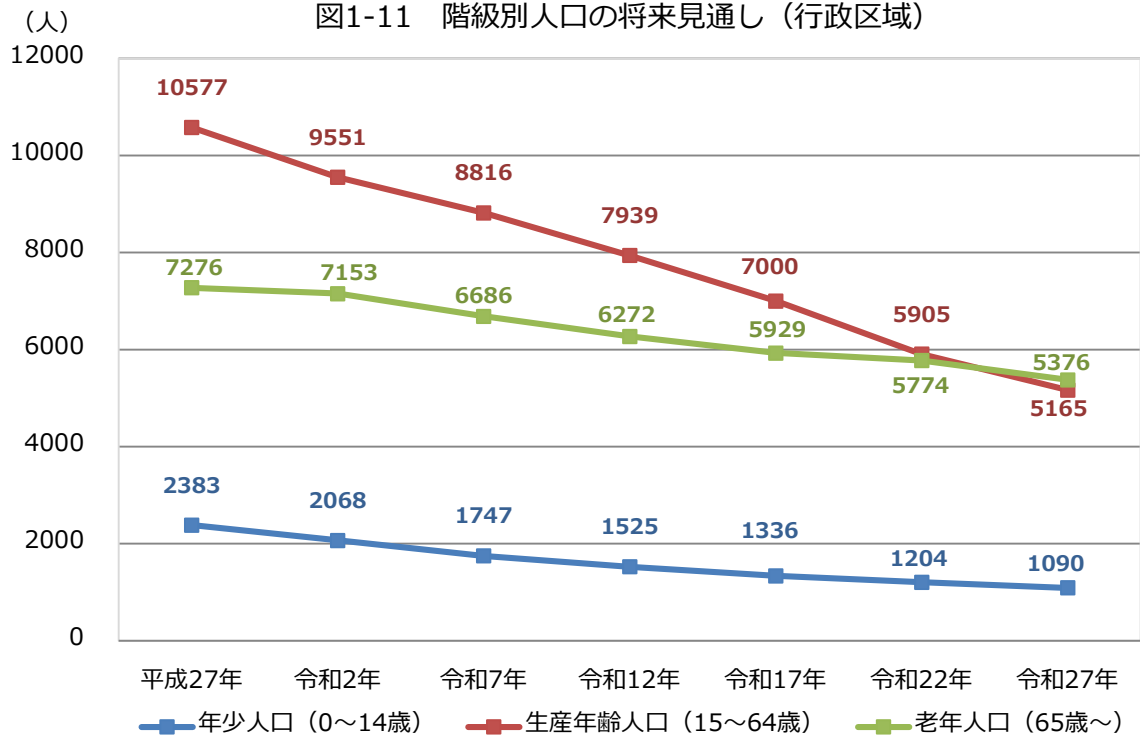


図1-11 階級別人口の将来見通し（行政区画）



C0104 人口増減

平成7年以降における人口動態を見ると、平成9年を境に死亡数が出生数を上回り、自然減に転じている。また、転出者数が転入者数を上回る社会減の状態が続いており、人口減少の一要因となっている。

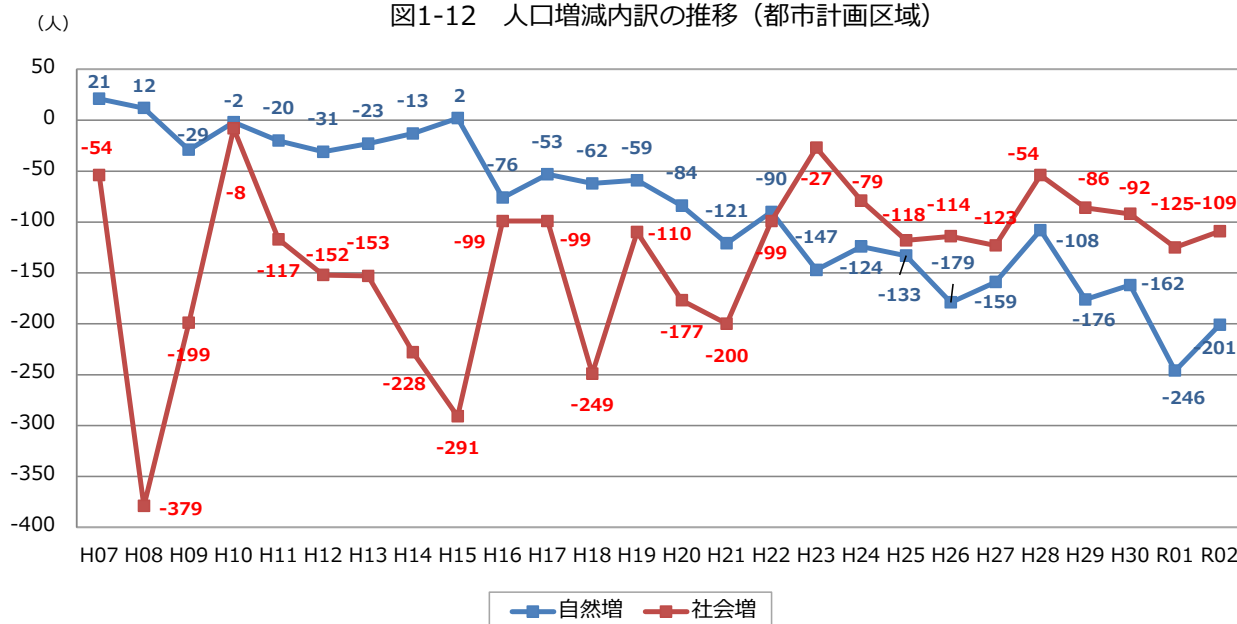
表1-5 人口増減内訳の推移(都市計画区域)

(人)

	人口増	自然増	出生数	死亡数	社会増	転入者数	転出者数	累計
平成7年	-33	21	222	201	-54	1,363	1,417	-1,602
平成8年	-367	12	214	202	-379	1,194	1,573	-1,969
平成9年	-228	-29	196	225	-199	1,266	1,465	-2,197
平成10年	-10	-2	201	203	-8	1,312	1,320	-2,207
平成11年	-137	-20	235	255	-117	1,314	1,431	-2,344
平成12年	-183	-31	198	229	-152	1,223	1,375	-2,527
平成13年	-176	-23	198	221	-153	1,261	1,414	-2,703
平成14年	-241	-13	204	217	-228	1,084	1,312	-2,944
平成15年	-289	2	213	211	-291	1,065	1,356	-3,233
平成16年	-175	-76	170	246	-99	1,115	1,214	-3,408
平成17年	-152	-53	182	235	-99	1,096	1,195	-3,560
平成18年	-311	-62	170	232	-249	1,014	1,263	-3,871
平成19年	-169	-59	182	241	-110	1,016	1,126	-4,040
平成20年	-261	-84	179	263	-177	888	1,065	-4,301
平成21年	-321	-121	152	273	-200	838	1,038	-4,622
平成22年	-189	-90	147	237	-99	866	965	-4,811
平成23年	-174	-147	139	286	-27	853	880	-4,985
平成24年	-203	-124	153	277	-79	744	823	-5,188
平成25年	-251	-133	130	263	-118	690	808	-5,439
平成26年	-293	-179	117	296	-114	640	754	-5,732
平成27年	-282	-159	121	280	-123	621	737	-6,014
平成28年	-162	-108	150	258	-54	645	699	-6,176
平成29年	-262	-176	104	280	-86	615	701	-6,438
平成30年	-254	-162	116	278	-92	681	773	-6,692
令和元年	-371	-246	93	339	-125	661	786	-7,063
令和2年	-310	-201	87	288	-109	608	717	-7,373

(住民基本台帳)

図1-12 人口増減内訳の推移(都市計画区域)



C0105 通勤・通学移動

平成 27 年における流出・流入別就業人口を見ると、流出率が 59.6%となっており、流入率の 53.7%を上回っている。また、平成 7 年から平成 27 年までの推移を見ると、流出人口と流入人口はほぼ横ばいであるのに対し、就業者数が減少していることから、ここ 20 年間で流出率が 15.2 ポイント、流入率 17.9 ポイントそれぞれ増加している。

さらに、「常住地による就業者数」に対する「従業地による就業者数」の割合がここ 20 年間でほぼ横ばいであることから、産業規模の停滞により地域経済が硬直化している傾向にあることが推測される。

流出先として最も多いのは岡谷市で 2,131 人(37.0%)、次いで諏訪市の 1,749 人(30.3%)、茅野市の 566 人(9.8%)の順となっており、上位 3 市で 4,236 人(77.1%)を占めている。

また、流入先を見ても同様に、岡谷市 1,967 人(42.0%)、諏訪市 968 人(20.7%)、茅野市 601 人(12.8%)の上位 3 市で 3,279 人(75.5%)となっており、諏訪圏域のつながりを示す結果となっている。(図 1-14 図 1-15 参照)

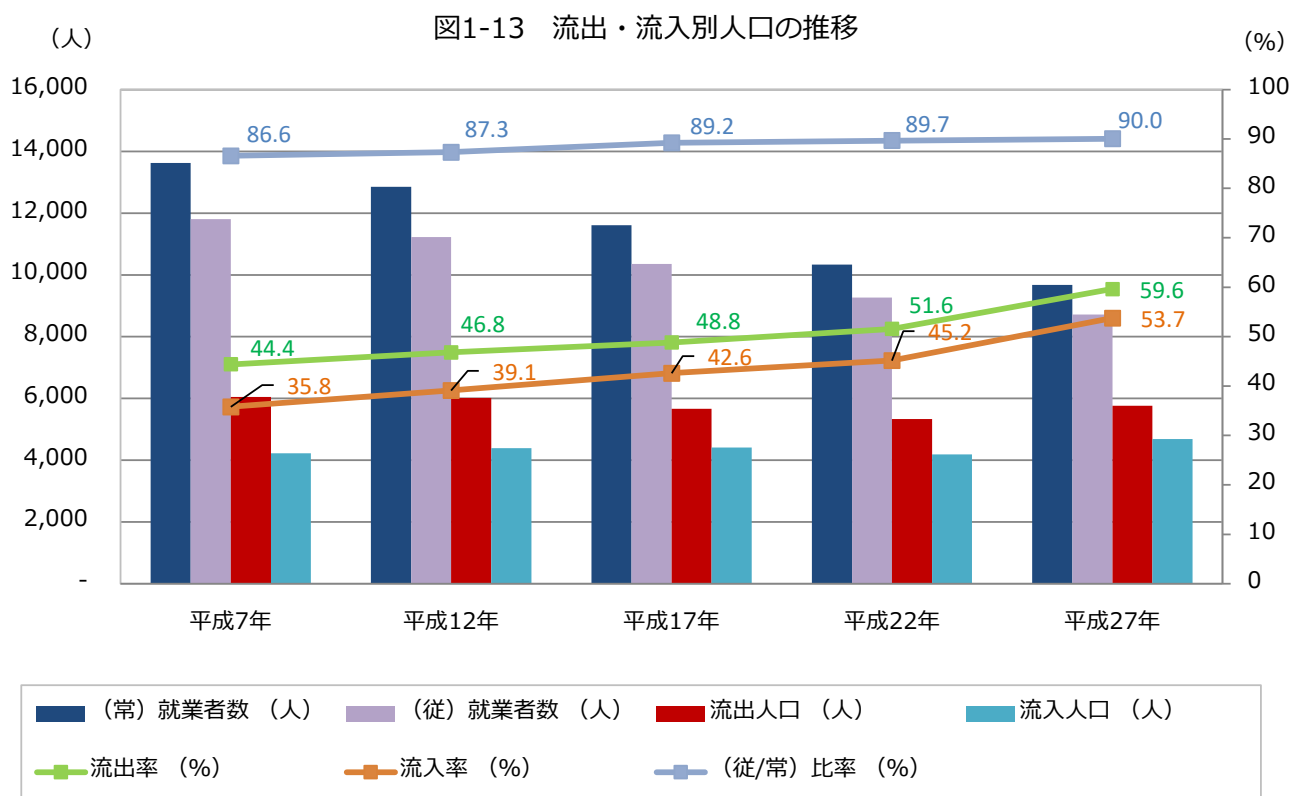


図1-14 流出先(上位5位)の推移

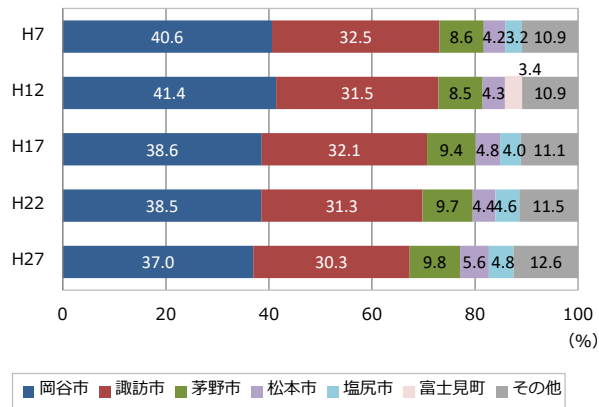


図1-15 流入先(上位5位)の推移

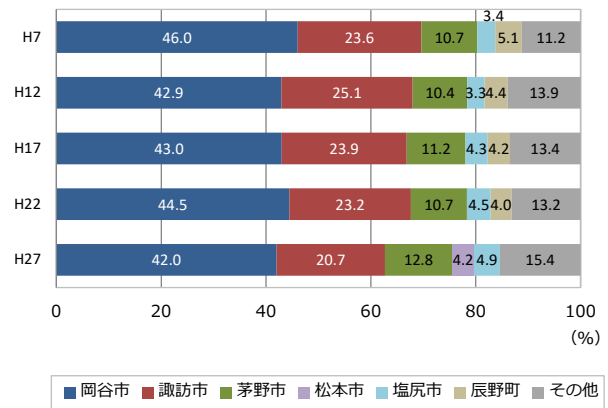


表 1-6 流出・流入別人口の推移

		常住地による就業者数			従業地による就業者数			(従／常)
			流出数(人)	流出率(%)		流入数(人)	流入率(%)	比 率(%)
平成 7 年		13,625	6,049	44.4	11,798	4,222	35.8	86.6
	流入内訳 (上位5位)	岡谷市	2,456	19.1	岡谷市	1,944	17.3	
		諏訪市	1,964	15.3	諏訪市	996	8.9	
		茅野市	521	4.1	茅野市	451	4.0	
		松本市	253	2.0	辰野町	214	1.9	
		塩尻市	195	1.5	塩尻市	143	1.3	
平成 12 年		12,852	6,018	46.8	11,222	4,388	39.1	87.3
	流入内訳 (上位5位)	岡谷市	2,491	21.5	岡谷市	1,884	18.2	
		諏訪市	1,897	16.3	諏訪市	1,100	10.6	
		茅野市	514	4.4	茅野市	456	4.4	
		松本市	260	2.2	辰野町	193	1.9	
		富士見町	202	1.7	塩尻市	145	1.4	
平成 17 年		11,603	5,662	48.8	10,350	4,409	42.6	89.2
	流入内訳 (上位5位)	岡谷市	2,185	21.1	岡谷市	1,895	20.5	
		諏訪市	1,818	17.6	諏訪市	1,053	11.4	
		茅野市	532	5.1	茅野市	492	5.3	
		松本市	269	2.6	塩尻市	189	2.0	
		塩尻市	228	2.2	辰野町	187	2.0	
平成 22 年		10,333	5,327	51.6	9,265	4,185	45.2	89.7
	流入内訳 (上位5位)	岡谷市	2,051	21.2	岡谷市	1,861	21.4	
		諏訪市	1,667	17.2	諏訪市	970	11.1	
		茅野市	518	5.4	茅野市	448	5.1	
		塩尻市	246	2.5	塩尻市	188	2.2	
		松本市	235	2.4	辰野町	167	1.9	
平成 27 年		9,675	5,767	59.6	8,712	4,682	53.7	90.0
	流入内訳 (上位5位)	岡谷市	2,131	22.0	岡谷市	1,967	22.6	
		諏訪市	1,749	18.1	諏訪市	968	11.1	
		茅野市	566	5.9	茅野市	601	6.9	
		松本市	321	3.3	塩尻市	231	2.7	
		塩尻市	276	2.9	松本市	195	2.2	

(国勢調査)

※流出率・流入率は全体からの割合数値

図 1-16 流出・流入状況図(平成 27 年)

